



平成29年2月3日

各位

上場会社名 株式会社総医研ホールディングス
 代表者 代表取締役社長 小池 真也
 (コード番号 2385)
 問合せ先責任者 取締役財務部長 田部 修
 (TEL 06-6871-8888)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年11月11日に公表いたしました平成29年6月期第2四半期(累計)連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、平成29年6月期第2四半期(累計)決算は、平成29年2月10日(金)に発表する予定であります。

記

● 業績予想の修正について

平成29年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,700	80	80	30	1.15
今回修正予想(B)	2,033	17	21	△6	△0.25
増減額(B-A)	333	△63	△59	△36	
増減率(%)	19.6	△78.8	△73.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年6月期第2四半期)	1,370	△21	△16	△32	△1.24

修正の理由

連結売上高につきましては、化粧品事業において「PHマッサージジェルPro.」の販売が伸び悩んだこと等から売上高が計画未達となったものの、健康補助食品事業において夏場に積極的に展開した広告宣伝活動の効果や定期購入顧客の増加等により売上高が計画超過となったことを主因として、上記のとおり前回発表予想数値を上回る見通しとなりました。

一方、健康補助食品事業において売上高は計画超過となりましたが、広告宣伝費の投下ならびに初回購入者に対する割引および送料無料の適用等により売上高に比して費用が先行したために利益寄与は限定的となり、化粧品事業の売上高の計画未達を主因として、利益面では上記のとおり前回発表予想数値を下回る見通しとなりました。

なお、平成29年6月期通期の連結業績予想につきましては、健康補助食品事業において引き続き定期購入顧客の増加等により販売が拡大傾向で推移する見通しであり、下期には先行費用の回収が進み利益への寄与が高まる見込みであること、および化粧品事業において売上動向を見ながら抑制的に費用投下を行う方針であること等から、前回発表予想数値に変更はございません。

※本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき、不確定要素については仮定を置いた上で当社にて作成したものであります。実際の業績数値は、様々な要因により上記数値と異なることがあります。

以上